

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2005-87592(P2005-87592A)

【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2003-327473(P2003-327473)

【国際特許分類】

A 61 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 61 B 6/03 3 2 1 L

A 61 B 6/03 3 2 1 Q

A 61 B 6/03 3 5 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月8日(2006.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検査対象に照射するX線を発生するX線管と、前記検査対象に関する計測データを検出するX線検出器と、前記検査対象に対する前記X線管および前記X線検出器の相対位置を変化させる回転装置と、前記計測データの演算処理を行う処理装置とを有し、前記X線検出器を前記X線管が描く回転面の接線方向に、回転面に平行な方向における前記X線検出器の長さの半分よりも小さい距離だけ移動させて配置し、かつ、前記処理装置において、前記計測データに対数変換処理を行い投影データを得る処理と、前記投影データの値に重みを乗算する処理と、前記重みを乗算したデータを用いて再構成処理を行い再構成データを得る処理とを行って、3次元再構成像を得るように構成したことを特徴とするX線計測装置。

【請求項2】

検査対象に照射するX線を発生するX線管と、前記検査対象に関する計測データを検出するX線検出器と、前記検査対象に対する前記X線管および前記X線検出器の相対位置を変化させる回転装置と、前記計測データの演算処理を行う処理装置とを有し、前記X線検出器を前記X線管が描く回転面の接線方向に、回転面に平行な方向における前記X線検出器の長さの半分よりも小さい距離だけ移動させて配置し、かつ、前記処理装置において、前記計測データの値に重みの指数変換値を乗算する処理と、前記重みを乗算したデータに對数変換処理を行い投影データを得る処理と、前記投影データを用いて再構成処理を行い再構成データを得る処理とを行って、3次元再構成像を得るように構成したことを特徴とするX線計測装置。